

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



笑顔でゴスペルを歌う子どもたち(カンボジア)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

新年早々の1月2日～5日にかけて、理事数名と有志がカンボジア孤児院へ行ってきました。一年に数回、カンボジアへ行きますが、既に、子供達にとっては待ちきれないイベントになっているようで、今回も皆大変喜んでいました。

数日の短い滞在ですが、子供達の成長と、その元気な姿を見せられ、本当に喜びを覚えました。一方、ザンビア孤児院の状況ですが、まだ内政の不安定さから、いまだ予断を許さない状況のようです。

子供たちの安全と安心のためにも一刻も早い解決を願うばかりです。

そして、弱い子供たちをさらに助けるために、皆さまの一層のお力添えをお願いするばかりであります。

どうかこれからも、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)
『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。
昨年の雨季を終えた頃から、下水の流れが非常に悪くなり、生活に支障が出ていました。また、外の出入口口付近も破損が激しくなって来て、修理の必要を思っていましたところ、思いがけない所から下水関係の仕事をしている方々の助けを受けることが出来、12月末頃には下水の問題が解消しました。修理等の必要の為のご支援を、心から感謝致します。そして、2018年1月の初めには、礎の石孤児院の秋元理事、真境名総主事らと共にご支援者の皆様が訪問して下さいました。子ども達は再会を喜び、また初めて来られた方々ともすぐに親しくなり、今回、バーベキューとボーリングをするというプログラムでしたが、天候にも恵まれ、バーベキューでは子ども達もみんな美味しくもりもり食べることが出来ました。またボーリングでは回を増すごとに子ども達が上手がってきて大変盛り上がり、楽しい時となりました。訪問して下さいました方々から、日本より、皆様のたくさんのご支援の品々が届けられ、本当にありがとうございました。



理事さんと総主事さん、ご支援者の皆さんと一緒にバーベキュー

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン礎の石孤児院の働きに対する皆様のご支援を心から感謝致します。
12月30日に行われた年末感謝パーティーは大成功に終わりました。
当初は98人の参加を予定していましたが、来られない子どもたちもいて、参加者は子どもたち54名、保護者19名、スタッフ5名、計78名となりました。
子どもたちはゲームをしたり、プレゼントをもらったり楽しい時間を過ごし、とても喜んでいました。
また4歳~10歳の小さい子どもたちはオモチャを、10代の子供たちはタオルやコロンをプレゼントとしてもらいました。
食費やプレゼント代を含め、全て予算内で賄うことが出来、皆で一緒に楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。
皆様のご支援を心から感謝致します。
2018年も引き続き皆様のご支援、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



年末感謝パーティーに参加する子どもたち

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか?)
皆様の常日頃のご支援に心から感謝申し上げます。
尊いご支援を頂いて、遂に念願だった車を購入する事ができました。また、何人もの方から衣類等が届き、現場は喜びと活気に満たされています。本当に感謝致します。
ザンビアでは現在コレラが大発生していて、タウンの商店、露天が閉鎖され、軍隊が出動してクリーニングをしています。
いかなる集会も禁止されていて、学校の新学期開校も、政府からの発表があるまで延期となりました。孤児院でも、手洗いの奨励等を徹底して、予防に努めています。今、カレブとデヴィッド、テリースガルスカで共にいます。
ついに高校三年生。すっかり青年らしい顔つきになり、時の流れを感じさせられています。
カレブは会計士を目指しています。デヴィッドとスティーブンは日本での技術研修を希望しています。そのための扉が開かれることを願っています。
2018年も、よろしく願い致します!



元気いっぱいのカレブとデヴィッド

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。今年は雨に恵まれ、地域の池や川なども十分に潤っています。まだまだ雨が降る勢いです。
経済危機と言われていますが、旅行する人々の出足は好調で、ブラジル人は旅行好きだと思えます。12月初旬に地域の政府系の医療機関で受けた健康診断の結果が出ました。血液検査は異常なし。腰の骨は様子見、B型肝炎についてはさらに精密検査が必要とのことでした。
これらすべてを無料で受けることができ、さらに高度な検査についても情報が必要だと思われました。11月末に左目に異常を感じ、地域の別の政府系の医療機関で診察を受けましたが、医師の紹介状により保険なしでも2500円ほどで眼底検査を受けることができました。
さて、インターネットでヘルパーのお仕事をされているレナタさんと知り合いになりました。先日は実際にお会いし、お宅を訪問しました。グアララペスの土地のこと、孤児院のビジョンについてお話することができました。さらに協力者を求めていると思います。
引き続きご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



レナタさんと松本スタッフ